



ハチに刺された時の応急処置



ミツバチの毒針
針を抜くときは、絶対に毒のう（毒の入った袋）に触らないこと！

※重要ポイント
刺されたらすぐに針を抜く！

ピンセットがあれば、針部分だけをつまんで抜く。

爪で皮膚をこするようにして、素早く針を抜く。←これが一番早い！
クレジットカードのようなものでこすってもOK!!

毒針の先端は、ギザギザ・鋭いがついている

皮膚に残ったミツバチの針と毒袋

ポイズンリムーバー
スズメバチ・ムカデ・ヘビ・毒グモなどの毒虫に刺された時の応急処置用

注！みつばちだけ毒の袋があるよ

応急処置の方法

- 刺された場所から離れる**
更なるハチ刺されを防ぐ
- 刺された場所を水で流す**
毒液を絞り出すように
- 針を抜く**
毛抜きか指で弾き飛ばす
- 患部を冷やす**
毒液のめぐりを遅らせる

指で弾く場合は横に払い落とす

水や濡れた布で冷やす

抗ヒスタミン剤かステロイド剤があれば塗って下さい。市販のものでいうと、ムヒ・ウナコーワ・レスタミン・リンデロンなど。

× BAD!
全体的に黒っぽい服 /

◎ GOOD!
全体的に白っぽい服装 /

危険なキイロスズメバチに遭遇しないためにハチを刺激するものは避ける！

- 黒いもの
- 毛皮
- ひらひらする服・物
- 強い匂い（香水、化粧品、整髪料など）

帽子、白いタオル、皮手袋、長袖、長ズボン

【刺されてからの経過】

ハチに刺されると、毒に含まれている刺激により赤く腫れあがります。刺された直後から激しい痛みと痒みが出ますが、たいてい1日～数日以内に症状は落ち着きます。

過去に1度でも刺されたことがある方やアレルギー体質の方は、人によってアナフィラキシー症状が起こることがあるので要注意です。

【アナフィラキシー症状とは】

●アナフィラキシーの代表的な症状



全身症状

冷や汗、脱力感、しびれ、めまい



皮膚・粘膜症状

かゆみ、赤くなる、じんましん、まぶたや口の中の腫れ



呼吸器症状

鼻がつまる、くしゃみや咳、呼吸困難、ゼーゼー、ヒューヒューとなる



循環器症状

動悸、胸が苦しくなる、血圧低下、意識障害、唇や爪が青白い



持続する消化器症状

吐き気、嘔吐、腹痛、下痢

このような症状が出現したら、すぐに医療機関を受診して下さい。

※アナフィラキシー症状がない場合は、医療機関を受診せず経過をみても大丈夫です。

■ ハチ刺症治療の一般的なフローチャート ■

全身性の皮膚症状 (紅斑・蕁麻疹など)

あ り		な し	
呼吸困難・血圧低下		局所の腫脹	
あ り	な し	強 い	弱 い
アナフィラキシーショック に対する治療	ステロイド薬静注	ステロイド薬内服	ステロイド剤軟膏塗布
	抗ヒスタミン薬静注	抗ヒスタミン薬内服	
		ステロイド剤軟膏塗布	



身近にいる危険なハチ(16種)

このハチが
まわりにいると
要注意です！



オオスズメバチ

危険度：★★★★★



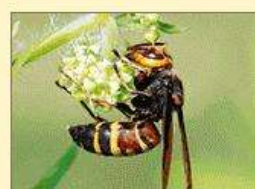
キロスズメバチ

危険度：★★★★★



チャイロスズメバチ

危険度：★★★★★



ヒメスズメバチ

危険度：★★★★☆



コガタスズメバチ

危険度：★★★★☆



モンズズメバチ

危険度：★★★★☆



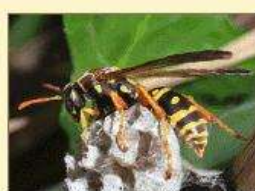
キアシナガバチ

危険度：★★★★★



セグロアシナガバチ

危険度：★★★★★



フタモンアシナガバチ

危険度：★★★★☆



ニホンミツバチ

危険度：★★★★☆



セイヨウミツバチ

危険度：★★★★☆



マルハナバチ

危険度：★★★★☆



クマバチ

危険度：★★★☆☆



ドロバチ

危険度：★★★☆☆



アナバチ

危険度：★★★☆☆



ジガバチ

危険度：★★★☆☆